

地域密着型サービスの自己評価票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念の共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念をつくり、玄関に掲示している。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	内部研修やサービス会議等で話し合いをし、理念に向けて支援できるよう努めている。	○	外部研修・内部研修で再認識していく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の行事等にも参加。ボランティア等も受け入れし、協力も得られるようになってきている。 (夏・冬祭り・盆踊り・デイキャンプ・敬老会・夕涼み会)	○	家族会・運営推進会・地域交流会等で伝えていく。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩・買い物時は挨拶をし、近所の方、顔見知りの方々と気軽に話している。 知り合いの方々も寄ってくださる。	○	外出の機会を多くする。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敬老会・盆踊り・保育所行事等に参加し交流に努めている。	○	地域の行事に参加する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	大正琴・踊り・エレクトーン等のボランティアをお願いし行事を計画、地域の敬老会の方々を招き楽しんでいただいている。 地域交流会を年4回予定している。	○	利用者・地域の高齢者に役立ち楽しんでもらえる様な計画を立てていく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義も理解し、内部研修・介護サービス会で話し合い、反省をして改善を活かしている。	○	内部研修・介護サービス会で自己評価・外部評価の意義を理解し改善に取り組んでいく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	入居者情報・交流等の報告や話し合いをする中で、助言をもらいサービスの向上につなげる。	○	住民・利用者・家族など「寄り合い」なものにし、生活支援の真の向上につなげる。 家族会との合同開催。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要時には出向き、状報を収集し、行き来する機会を多く取っている。	○	行き来する機会を多く取っていく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度については、家族会で説明を行う。	○	文章で詳しく情報提供をしていく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修（虐待防止）に参加・復命にて周知する。	○	内部研修・サービス会議等で認識していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	家族会で不安や疑問点などの説明を行っている。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	運営推進会議・家族会の合同開催。日頃から利用者の声を聞くように努める。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	○	報告を徹底していく。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	遠慮なく意見を出してもらえるような雰囲気づくりをしていく。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	皆の意見を聴き、より良くしていく為に活かしていく。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	臨機応変な対応ができるようにする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内異動の際は少人数のみの配置換えに心がけている。</p> <p>職員の定年に伴い再雇用制度を導入している。</p>	○	<p>馴染みの職員配置を考慮して、再雇用制度に取り組んでいる。</p>
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設外研修は職員育成及び知識増大の為にも、積極的に参加させている。</p> <p>自主研修を行っている。</p>	○	<p>施設内外の研修等に参加することで知識の増大に努めていく。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>児湯郡館内の同業所との交流研修を実施しているとともに、勉強会を通じて情報公開の場としても実施し、サービス向上の機会を取り入れている。</p>	○	<p>インターネットを活用し同業者とのネットワークづくりに今後も取り組み、職員の学びの場を増やしていく。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員互助会等を通じて職員のリフレッシュを図る為の各種リクリエーションを取り入れている。</p>	○	<p>職員のストレスを軽減する為の取り組みに今後も取り組んでいく。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>年2回の自己評価を導入している。</p> <p>職員個々の取り組みに実績、反省を反復する事により個々の努力や向上心が湧いていくように努めている。</p>	○	<p>働きやすい環境整備に努めていく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人に色々な事を話していただき、話しの中から本人の気持ちを組み取れるよう努めている。	○ 話しかけを多くし色々な話しをしていただく。情報等も伝える。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	時々申し込みをされている方に、電話等にて現状をお聞きし、家族等が困っている事があれば自宅訪問し、ホームにも来てもらい、傾聴する事で良い関係が築けるように努めている。	○ 信頼関係を築いていく。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用申込の時点で、他のサービスの利用を受ける時は、居宅支援事業所等も一緒に紹介していただきサービスを考える。	○ 色々なサービス等の説明を十分に理解できるようにする。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族に見学してもらい、ホームの利用者の様子を観ていただき、ご本人も馴染みの場になれるかを観ていただいて、入所の時期を決めるなどの工夫を行っている。	○ 本人にも見学・体験をしていただくようにする。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の生活歴を知り、色々な事を教えていただき、家事等を一緒に行い感謝の気持ちを伝え、嬉しい時は一緒に喜び、不安な時は寄り添っている。	○ 嬉しい事があったら一緒に喜び、不安な時は寄り添えるように努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会や家族会の時に、行事や日頃の様子を伝えたり、家族等の生活の様子を伺い、共に考えたりして、本人の事も伺い支援している。 日常の写真をみて喜んでいただいている。	○	家族等と信頼関係を築き、伝えたり聞いたりして相談をし、一緒に本人の支援を続ける。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	花見・誕生会・忘年会等を一緒に楽しむ場面を作っている。 職員も和気あいあいとできる雰囲気づくりをしている。	○	行事等で本人・家族等が楽しい時を過ごしていただけるようにしていく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブでは、行きたい場所の希望を聞き自宅訪問・墓・寺参りを行っている。 一の宮神社へ遠足や冬祭りの買い物、夏祭りは商店街に出かけている。	○	慣れ親しんだ場へ出かける機会を多くし、たくさんの方々と接してもらう。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士で心配事や家族等の話しをされ、聞いたり、励ましたりして、共に笑い支えあっている。 職員が離れる時は、話し相手をお願いしている。	○	利用者全員が共に楽しく生活できるように気配りをする。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族等がホームを訪ねてくださり、今の状況を話されたり、電話にて本人の状況報告をされたり、相談事などを一緒に考えたりしている。	○	挨拶や話しかけを続けていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	良く話を聞き、本人の思いを把握しようと努めている。 困難な方に対しては、どうしたら本人が安心して生活できるか、家族等と一緒に話し合っている。	○ 職員は一人ひとりの思いや、意向を引き出せるように努める。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族等から本人の心身の状況及び、介護の状況や生活状況等を伺ったり、関わりのあった居宅介護支援事業所より情報の収集を行う。	○ 本人に出来る事をして頂きながら、安心して自分らしく生活できるように支援していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの状態に応じて、出来る事をして頂きながら、個々のペースで1日が過ごせるように、支援ができるよう努めている。	○ できる力を、見出す事に努める。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントをして、職員の意見を聞きながら作成している。	○ サービス計画書作成の際は、利用者及び家族の生活に対する意向を聞きながら作成している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直し以前に対応できない変化が生じた場合、本人や家族、必要な関係者と話し合い、新たな計画を作成している。	○ 変化に応じた介護計画作成に努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	サービス管理表・ケース記録等で共有し、サービス会議や内部研修で話し合い計画に活かしている。	○	日々の記録を介護計画に活かしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染みの関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の多機能性を活かして、防災訓練に参加したり、管理栄養士から指導を受けたり、福利厚生 の充実を図る。	○	各事業所のそれぞれの専門性と設備等を活かしなが ら支援する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方々にも頻繁にお願いして、行事等を行っている。地域の方にも協力を得られ、地区どくじの火災時協力員の名簿も作成している。	○	各機関の協力を得ながら、より良い支援を続けていく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者、家族等からの要望があれば支援していく準備は整えている。	○	本人にとって良いサービスが利用できるように、本人・家族の意向により支援していく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要性に応じて、地域包括支援センターと協働している。	○	地域包括センターと連携を取っていく。

宮崎県都農町 グループホームおすず

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期・異変時の受診を行っている。別な医療機関受診は家族と相談し、家族と一緒に受診を行っている。	○	医療機関との連携を取りながら、本人・家族が望む医療を受ける。(ターミナルケア)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の症状悪化させないよう援助方法も検討しながら、家族に説明し、家族と一緒に専門医等に受診している。	○	専門医に受診することで、認知症の特徴を踏まえたケア準備をする。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の健康管理を行っている。 必要時には早めに受診を行う。	○	健康管理を徹底し、表情の観察をしていく。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族等と一緒にインフォームドコンセントの説明を受け面会も多く行い、病院関係者との情報交換を行う。	○	面会を多く行い、病院関係者との情報交換を行なう。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族等と一緒にインフォームドコンセントの説明を受け、職員も共有している。	○	家族と一緒に受診する。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者が安心、安楽に過ごせるように、かかりつけ医・家族等と連携や連絡が取れる体制を行っている。 ホーム利用者全員、特養の申請を行っている。	○	家族、かかりつけ医との連携を取っていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族及び本人に関わるケア関係者間で、十分な話し合いや情報交換を行い、文書では計画書、サマリーを提出している。	○	継続して情報交換を行なう。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	思いやりのある言葉かけや対応に心がけている。個人情報に関する基本方針、個人情報の利用目的を掲示。	○	内部研修・施設外研修で学んでいく。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の訴えを聞く。話しかけなども多くし、本人の希望がある時は、要望に添えるように配慮している。	○	見守り・傾聴・話しかけを多く行なう。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしている。望まれる行動をすぐに支援することができない場合もある。	○	希望にそって支援できるように努める。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の希望を聞き、職員が調髪を行なっている。外出時には、好みの服を選んでいただいている。	○	一人ひとりの個性を大切にしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の希望を聞いたり、食材を切ってもらい一緒に味付けや味見を行なっている。 その方に合った盛り付け・配膳・下膳をしていただいている。	○	少しでも家事が続けられるように支援する。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶の勧めない方には好まれる飲み物で、飲み込みの悪い方にはトロミを付ける。希望によりパンにしたり、体調によってはお粥などにして対応している。	○	本人の希望に添い、食事を生活の中の楽しみにしていただく。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間毎の声掛けやトイレ誘導を行なっている。	○	トイレ・ポータブルトイレでの排泄の支援をしていく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯はホームに合わせている。 体調に合わせて午前中に入浴することもある。また本人の希望により毎日入浴を行なう事もある。	○	本人の希望での入浴を行なっていく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中はリズムのある生活をしていただき、個々の状態に応じて休息をしていただいている。	○	本人のペースを大切に支援していく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食材切り・盛り付け・配膳・下膳・台拭き・茶碗拭き・洗濯干し、たたみ・床拭きなど、その方に出来る役割をしていただいている。 行事や買い物・散歩等、外出をする事で気分転換されている。	○	役割を持っていただき、張り合いのある生活をしていただけるように支援をしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	通院した際には、自分で支払いをしていただいている。	○	自分で買いたい物が買えるように支援をしていく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物に出かけている。困難な方も一日1回は外気浴をしていただいている。	○	戸外に出る機会を増やしていく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ドライブ行事で、自宅や姉妹宅へ行ったりしている。	○	今以上に行きたい場所へ外出が出来るように努めていく。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話で話しをしていただいている。 手紙のやり取りなどの支援はできていない。	○	電話をしたり、手紙のやり取りが出来るように支援をしていく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	職員は訪問して下さる事を喜び、お茶を飲んでいただきながら、本人と馴染みの方が、和気あいあいと出来る雰囲気づくりをしている。 帰りの際は、いつでも訪ねて下さるようお願いをしている。	○	職員は皆様が気軽に訪ねて下さるような接遇に心がける。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の行動を止めず、安全を守りながら付き添うように努めている。	○	内部研修で再認識をする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	特別な時だけ玄関に鍵をかける事があったが、今はない。 非常口等も開放し戸外をみていただいている。見守り重視をしている。	○	自由に行動ができるように見守る。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員同士で声を掛け合いながら、見守りを重視している。	○	プライバシーに配慮し見守る。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	見守りながら、包丁の使用や裁縫箱(針・ハサミ)を使用していただいている。	○	生活の中で一緒に使用していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	配薬は名前を確認し手渡す。食事中は見守り、摂取しやすいように手を添えたりする。 常に事故防止に努め、発生時には報告書で状況を伝え、改善点を記入し周知する。	○	サービス会議等で一人ひとりの状態を把握し、リスクの検討をする。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	尾鈴荘で行なわれている緊急時対応訓練に参加している。 緊急時対応マニュアルがあり周知されている。	○	訓練等を頻繁に行なう。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	施設全体での訓練や推進会議で報告し、アドバイスを頂き、地区の災害時協力員の名簿を作成し、夜間緊急連絡網にも家族了解の上で記載する。	○	地域の方々との交流(協力員)を十分にとる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入所される時に説明を行なっている。状態の変化時には報告し、本人にとってどうしたら良いのかの話し合いをしている。	○	家族への状況報告を密に行い話し合いを多くする。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一日2回の健康チェック。血圧上昇のある方には、随時測定し、Drや家族に観てもらっている。表情の観察を常に行ない、異変時には早めに受診する。	○	体調観察をこ細めに行い、異変時には即対応できるようにする。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤された処方箋を管理している。受診時に医者に報告している。	○	確実に服薬支援をしていく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便を促す食材を使用し、好まれる物で水分補給を多くしている。	○	自然排便を促す工夫をしていく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアを行い、その際 口腔内を観察している。義歯を毎晩外し、週1回は義歯洗浄剤を使用し、除菌・消臭に努めている。コップ・歯ブラシ等は天気の良い日は日光に当てる。	○	自立を促しながら継続する。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事などの摂取量を記録している。摂れない方は別に記録し、高栄養食や好まれる物で摂ってもらっている。月1回の体重測定で体重のチェックをする。	○	必要な栄養が摂取できるように支援をしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	予防接種（インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン等）レントゲンを撮っている。 内部研修にて感染症に対する知識を学び、利用者・職員共に、爪きり・手洗い等を充分に行っている。 週1回のシーツ交換・布団干し・ホーム内消毒。	○	感染症をおこさないように意識して支援する。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具は乾燥し、台所は常に清潔にしている。 毎日買い物に行き新鮮な食材を使用。搬入の際はエタノールを使用している。	○	衛生管理に努め、新鮮な食材を使用する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関・非常口の戸を日中は開けている。 玄関前に車は止めず、花を置いている。	○	親しみやすい玄関周りの工夫をする。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	光や外気の調整をし、鳥や犬の声を聞きながら生活を感じ、玄関でゆったりと過ごしていただいている。	○	居心地よく過ごしてもらえるように工夫する。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士で会話をされている時は、そっと見守っている。	○	利用者の気持ちを組み取り、声掛けをしたり、そっと見守ったりする。

宮崎県都農町 グループホームおすず

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	家族の方に馴染みの家具・使い慣れた物など を持ってきていただいている。	○	プライバシーを大切にし、部屋で安心して過 ごしていただけるように支援する。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大 きな差がないよう配慮し、利用者の状 況に応じてこまめに行っている	自然な風で換気を行い、様子を見ながら調 整をしている。	○	できるだけ自然な換気を行う。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	手すりを使用し移動してもらっている。	○	機能を活かした生活ができるように支援 する。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混 乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	トイレ・洗面等に早く気づき、案内を している。	○	職員は利用者の動きに早く気づき、失 敗や混乱のないように支援する。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽 しんだり、活動できるように活かして いる	庭に洗濯物や布団を干してもらったり、 花の水やり、椅子を置き外気浴、非常 口の戸を開ける事で遠くの山が見え たり、園児の姿が見えたり、笑い 声が聞こえる。	○	庭で楽しめるような工夫を行なっ ていく。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

職員は優しい思いやりの気持ちを持って支援することに努める。